

2016年12月1日

三井化学産資株式会社

当社の「シリカルアート工法」が横浜市・山下公園の路面サインに採用 ～2017世界トライアスロンシリーズ横浜大会に向けて、自転車マナーの向上を啓発～

当社が展開する、簡単・スピーディ・安全・自由なデザインで屋内外の床や壁を彩る「[シリカルアート工法](#)」が、横浜・山下公園の自転車利用マナー向上のための路面サインとして、横浜市に採用されたのでお知らせいたします。



(横浜・山下公園のシリカルアート施工現場、4,000mm×900mm サイズ)

今回横浜市は、2017年5月に開催される大会に向け、開催場所となる山下公園における自転車利用ルールの周知・普及とともに、「トライアスロン・パラトライアスロンの街 横浜」の認知向上を目的に、当社の「シリカルアート工法」を用いた路面サインを設置致しました。

当社は今後とも、環境と調和した共生社会、健康・安心な長寿社会の実現に向けて事業活動を通じて取り組んでまいります。

以上

*参考) 横浜市記者発表資料 : https://yokohamatriathlon.jp/wts/news_161130-1.html

<本件に関するお問い合わせ先>

三井化学産資株式会社 建築資材部 (TEL : 03-3837-5821)

■ シリカルアート工法とは？

～簡単、スピーディ、安全、自由なデザインを実現する床・壁工法～

シリカルアート工法とは、特殊ポリエステルシートに自然石や天然スレート、木目などの模様やマーク、写真などのデザインを印刷し、そのシートを MMA（メチルメタクリレート）樹脂で貼り付けることにより、屋内外のコンクリート・アスファルト・木材などの床面や壁に、注意喚起の情報や案内、宣伝、トリックアートなどを立体感あるデザインで表現する工法です。粘着シールとは異なり、剥がれてきて外観を損ねることがありません。

耐候性や耐水性、耐摩耗性に優れ、速乾性も持ち合わせているため、屋外での長寿命化と共に工期の短縮を実現しました。また表面に滑り止め加工も可能なため、歩行者や自転車などの通行の安全を確保することができる世界で広く使われている画期的な工法です。



施工の様子①



施工の様子②